



# 東 矢 通 信

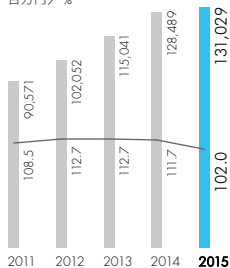
第三十一卷

2014.4.1—2015.3.31

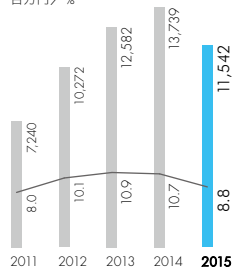
## 財務ハイライト

3月31日に終了した1年間

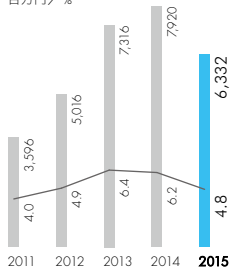
売上高／  
売上高伸び率  
百万円／%



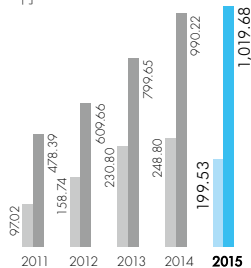
経常利益／  
経常利益率  
百万円／%



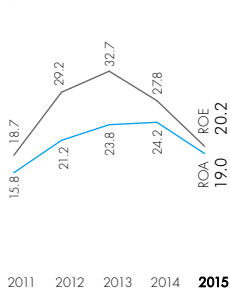
当期純利益／  
当期純利益率  
百万円／%



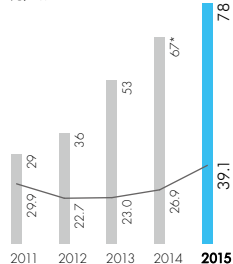
1株当たり当期純利益／  
1株当たり純資産  
円



ROA / ROE  
%



1株当たり配当金／  
配当性向  
円／%



\* 2014年3月期の配当金には、創業25周年に伴う記念配当(1株当たり5円)が含まれています。

## Contents

- 01 財務ハイライト
- 03 社長メッセージ
- 07 特集：経営理念の浸透
- 09 ビジネスレビュー
- 15 2014年秋冬ヒットアイテムのご紹介
- 16 CSR情報
- 17 連結財務諸表
- 21 株主様アンケート結果のご報告
- 23 株式データ
- 24 株主メモ
- 25 会社情報
- 26 お知らせ

最近の決算資料  
[unitedarrows.co.jp/ir/lib](http://unitedarrows.co.jp/ir/lib)



CSRサイト  
[unitedarrows.co.jp/csr](http://unitedarrows.co.jp/csr)  
 スタッフインタビューも掲載しています



ブランド紹介  
[unitedarrows.co.jp/brand](http://unitedarrows.co.jp/brand)



## 社長メッセージ



株主の皆様には、格別のご支援とご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

2015年3月期は、お客様の消費マインドの変化に対して即時に対策を打てなかったことから、売上・経常利益ともに期初計画に対して未達となりました。

今一度、経営・全従業員が社是「店はお客様のためにある」に立ち返り、お客様満足を全ての判断軸に据え、2016年3月期は、再成長へ向けて立て直しを図ります。

### Q 2015年3月期の総括をお願いします。

2015年3月期は、消費増税や円安など経済環境が大きく変化した中、お客様のファッション消費への意識も転換しました。定価品・セール品にかかわらず価値あるものを吟味して買う傾向が強まったものの、近年の業績安定により危機意識が薄れたことで、お客様の変化を即時に把握し、対応することができませんでした。

最も反省すべきは、円安対策として実施した価格政策です。近年の円安進行に伴い仕入品・海外生産品の原価が上昇したため、当社では2013年秋冬の一部商品から、素材やデザインなどの付加価値向上を伴った値上げを段階的に行いました。その後も強まる円安に対して原価率の低減を重視し、2014年の秋冬商品については、ほぼ全商品一律の値上げとなりました。一方、消費増税や実質所得の減少を背景にお客様のファッション消費への慎重さは増し、価格と価値に対する目線が一層厳しくなっています。このような消費マインドの変化を的確に捉えられないまま実施した2014年秋冬商品の値上げは、お客様に認めていただくことができませんでした。その結果、連結売上高131,029百万円(前期比102.0%)、経常利益11,542百万円(同84.0%)の増収減益となりました。価格政策をはじめとする全ての施策において、お客様意識が欠如してしまったことを真摯に受け止めています。

### Q 課題解決へ向けた施策の進捗を教えてください。

まずは価格の見直しです。2015年3月期の実績を基に、従来の価格に戻す物と付加価値向上によって値上げが可能な物を精査します。定番商品などお客様が期待されている価格がある商品は以前の水準に戻し、売上の軸となる価格帯を確保します。同時に付加価値向上によって値上げが可能な商品を見極め、価値に見合った価格帯の商品も開発します。

商品政策も見直しています。従来は春夏・秋冬の各シーズン中に売れ筋商品を見出し、セールでは売れ筋を中心に販売できるよう商品を追加調達していました。ところが、セールの長期化を背景に同じ商品が店頭に並び続けることになってしまい、お客様に新鮮さを感じていただけなかったと反省しています。今後は商品をきめ細かく投入・追加できる商品政策に切り替え、常に新鮮な店頭でお客様をお迎えします。2015年春夏シーズンから、オリジナル企画商品比率の高い「グリーンレーベルリラクシング」と「スモール ビジネス ユニット」の一部事業で取り組みを開始し、仮説検証を繰り返しながら商品計画の精度を高めます。

併せて、在庫の消化も促進しています。2015年3月期は、連結売上高が前期比102.0%に対してたな卸資産が前期末比115.2%となりました。これはセール時の売上確保を狙った従来の商品政策や、消費増税前の駆け込み需要に備えた2014年春夏商材の大規模調達によるものです。これらの余剰在庫は、催事イベントの開催やネット通販へのセール品の集約により消化を進めています。

#### Q 2016年3月期の経営方針についてお聞かせください。

2016年3月期は「目の前のお客様大満足」を経営スローガンとします。社は「店はお客様のためにある」に立ち返り、「目の前のお客様大満足」を全ての判断軸に、全従業員が自分にできるお客様大満足を考え、行動します。

この達成に向け、「商品・販売・宣伝部門連携サイクルの徹底強化」を重点取組課題に設定します。商品部門は、販売部門と活発にコミュニケーションしながら自らも店頭で足を運び、お客様のニーズに沿った商品を開発します。併せて当社だからこそ提案できる、時代の半歩先を行く商品もバランス良くそろえます。販売部門は、お客様の期待を超える接客に努めるとともに、お客様のご要望を商品部門に的確に伝えて商品開発に生かします。宣伝部門は、「検索と共有」をキーワードにお客様がどの

ように情報を検索しているか、共有したいと思う商品やサービスは何かなど、ご来店の動機を常に意識した新たな情報発信や販促企画に挑戦します。

もう一つの重点取組課題は「在庫増加の抑制」です。必要なタイミングと数量を十分に見極めた上で商品を調達し、消化率を高めて在庫の適正化につなげます。

#### Q 最後に、株主の皆様メッセージをお願いします。

当社は、2017年3月期を最終年度とする中期経営計画を2014年5月に発表しました。しかし、お客様を取り巻く環境や消費動向が想定以上に変化していることを受け、中期経営計画の売上・利益目標の取り下げを決めました。2016年3月期は足場固めに注力し、安定化が見込まれる2017年3月期に再成長へ向けた新たな中期経営計画を策定、2018年3月期の期初に発表を予定しています。一方、中長期的に株主様価値の維持向上を図るため、連結ROE20%以上という目標値は維持します。2015年2月から4月には1,630,300株、取得価額約60億円の自己株式を取得し\*、連結ROEは20.2%となりました。1株当たり配当金も当初計画を据え置き、年間配当金は78円（連結配当性向39.1%）といたしました。

\* 2015年3月末までの取得株数は1,259,100株、取得価額は約46億円となります。

今後も、社は「店はお客様のためにある」を原点に、お客様満足を徹底的に追求することで、企業価値向上を目指します。株主の皆様には、ユナイテッドアローズグループの今後の事業展開にご期待いただき、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

代表取締役 社長執行役員

竹田 光彦

## 特集：経営理念の浸透

当社は、経営・全従業員が経営理念「私たちは、世界に通用する新しい日本の生活文化の規範となる価値観を創造し続けます。」を志とし、社は「店はお客様のためにある」を全ての企業活動や判断の軸としています。これらは、当社が創業から現在に至るまで持ち続けている価値観そのものであり、未来永劫目指すものです。

9割以上の従業員が回答した「2014年度 従業員意識調査」では、約97%が経営理念に共感しています。理念への共感や浸透度の高さを原動力として、今後も価値創造を続けていきます。

### 理念浸透のための施策・制度

#### ① 理念ブック

経営理念が描かれた「VISION」、従業員の声を集めた「VOICE」、当社らしい風景というテーマで従業員から寄せられた写真で構成した「VISUAL」の3冊から成り、全従業員へ配布しています。業務上、判断に迷ったときに理念に立ち返り、従業員一人ひとりの声や写真から解決の糸口を見つけてほしい、当社で働くことを通じて実現したいことを突き詰めてほしい、という思いが込められています。



<表紙デザインについて>  
左より  
「VISION」端から見た一本の矢  
「VOICE」複数の矢を束ねたもの  
「VISUAL」束ねた矢が飛んでいく軌跡

#### ② 目標管理制度

当社は、「株式会社ユニテッドアローズ」という社名に象徴されるように、経営理念という一つの目標に向かって直進する矢 (Arrow) を束ねた (United) 集団です。従業員一人ひとりが、会社の目標に連動した個人の目標と行動計画を策定し、徹底した進捗管理を行うことで目標の達成を目指す、「目標管理制度」を導入しています。評価基準には、業務の成果に加え、経営理念の体現度も含まれており、従業員の経営理念実現への意識を高めています。

社名に込められた意味

**UNITED ARROWS LTD.**

矢を束ねた集団 経営理念という目標に向かって直進する矢=従業員

#### ③ 東矢大學

全従業員を対象にした研修機関です。販売やオフィス業務を習得する基礎研修・スキルアップ研修に加えて、新卒・中途入社者へ向け理念の理解浸透を図る「理念研修」を実施しています。「理念研修」では、理念の定義を共有し、各々の業務を通じて経営理念を実現させるために、一人ひとりが考え、行動につなげる機会を提供します。2014年3月期から2015年3月期には、本部オフィスの従業員に向けて「オフィス理念研修」を実施し、理念への意識をさらに高めました。

取締役 常務執行役員  
東 浩之



当社は、経営理念「私たちは、世界に通用する新しい日本の生活文化の規範となる価値観を創造し続けます。」を第一義に据え、それを実現するために必要な要素として、理念体系を定めています。その中に、一人ひとりの基軸とすべき3つのマインドとして、お客様満足を目指す「CSマインド」、お客様満足の結果として収益が生まれると考える「商売マインド」、お客様の問題を解決する新しい価値を生み出す「クリエイティビティマインド」があります。この理念体系を理解し、各々の業務を通じてどう体現するかを考える機会として、当社では理念研修など各種施策を実施しています。ただし、最も重要なのは、日々の討議や意思決定の際に3つのマインド全てが成り立つかを一人ひとりが考え、実践することです。その点で、常に「お客様満足につながるか」を判断軸に行動できる従業員が多いのが、当社の強みであると自負しています。一方、3つのマインド全ての両立という点では課題があると認識しているため、今後、従業員の理解や意識を向上させていきます。

当社にとって経営理念とは、当社が目指す方向、すなわち事業目的そのものです。経営理念が浸透することで、従業員一人ひとりが判断軸をぶらすことなく課題を解決することが可能となります。全従業員が同じ目標に向けて突き進んだ結果、会社が目指す方向へ進めることが、経営理念の最大の効果だと考えます。

「経営理念」の詳細について、以下でご紹介しています。  
[united-arrows.co.jp/ir/philosophy](http://united-arrows.co.jp/ir/philosophy)

## Business Review

### ユナイテッドアローズ事業

ビジネスユニット  
売上高前期比 **100.0%** 小売+ネット通販既存店  
売上高前期比 **97.7%**

## UNITED ARROWS

ユナイテッドアローズ (UA)



2015年春夏シーズンビジュアルより引用

UA事業では、トレンドアイテムのチェスターコートやスニーカーが好調な動きを見せたものの、価格を改定した秋冬商品が一般的に弱含みで推移しました。今後はお客様層を再分析してファッションテイスト別に商品カテゴリーを組み直し、各カテゴリーに合わせた商品開発を進めます。お客様のニーズに合った商品を、慎重に設定した価格でご提案することで、売上の改善につなげます。2015年3月には写真共有サービスのインスタグラムにおいて公式アカウントを開設しました。イベント告知や商品紹介、ブランドイメージ写真などさまざまな情報を発信し、お客様にファッションの楽しさをお伝えしています。



UNITED ARROWS

## BEAUTY&YOUTH UNITED ARROWS

ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ (BY)



2015年春夏シーズンビジュアルより引用

BYでは、メンズのチェスターコートやウィメンズのダブルコートに加え、素材や工場を厳選した高品質のカシミアニットが好調でした。「スティーブン アラン」は事業開始から2年目となり、お客様層が明確化したことで商品企画の精度が上がりました。積極的なイベントの開催やBY店舗でのコーナー展開の拡大によってブランド認知も向上し、順調に売上を伸ばしています。「モンキータイム ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ」は、ブランドの世界観を強く打ち出した路面店舗の原宿店(東京都渋谷区)を2015年4月にオープンし、トレンドに敏感な層へ訴求を図っています。



BEAUTY&YOUTH  
UNITED ARROWS

## ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング事業

ビジネスユニット 売上高前期比	99.3%	小売+ネット通販既存店 売上高前期比	97.8%
--------------------	-------	-----------------------	-------

## UNITED ARROWS green label relaxing

ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング (GLR)



2015年春夏シーズンビジュアルより引用

GLR事業では、メンズのニットやアウター、ウィメンズのジャケットやパンツなどが好調だったものの、価格を改定した秋冬商品において売れ筋価格の品ぞろえが薄くなったことで、前期を下回る実績となりました。今後は売れ筋価格をそろえた上で、価格と価値のバランスが取れた高価格の商品も拡充し、売上回復を目指します。GLRは接客教育に注力しており、販売力に対する高い評価をいただいています。2015年3月期は商業施設主催のさまざまな接客コンテストにおいて上位入賞したほか、織研新聞社主催「第17回ディベロッパーが選んだテナント大賞」においても「ベストセラー賞」を受賞しました。



## クロムハーツ事業

ビジネスユニット 売上高前期比	107.6%	小売既存店 売上高前期比	103.9%
--------------------	--------	-----------------	--------

## CHROME HEARTS

クロムハーツ (CH)



2015年春夏シーズンビジュアルより引用

CH事業では、消費増税前の駆け込み需要の反動や2014年6月の価格改定の影響が一時的に見られたものの、定番のシルバーアクセサリーや新作のカットのほか、CHファンや富裕層のお客様による高額商品の売上が好調でした。CHブランドの世界的な認知拡大に加えて、円安の進行と免税制度の改正が後押しとなり、東京・大阪地区を中心に訪日外国人のご来店が増加しています。CHでは販売員の語学教育の継続で対応力を高めており、外国人売上を大きく伸ばしました。今後はブランドステータスの向上に合わせて接客サービスを強化し、ラグジュアリーブランドにふさわしいおもてなしにつなげます。



## スモール ビジネス ユニット

ビジネスユニット  
売上高前期比

99.4%

小売+ネット通販既存店  
売上高前期比

93.3%

## SBU's

スモール ビジネス ユニット (S.B.U.)



ドゥロワー 2015年春夏シーズンビジュアルより引用

S.B.U.では、消費増税の影響で全般的に売上が弱含んだものの、上質で洗練された逸品を大人の女性に提供する「ドゥロワー」がダブルコートやストール、ニットのヒットで好調でした。新規事業では、ウイメンズセレクトショップの「アストラット」が、ユナイテッドアローズ店舗でも商品を展開し、好評いただいています。今後は取扱店舗の増加により、ブランド認知を拡大させます。ファッションとスポーツを軸に編集したセレクトショップ「アンルート」は2号店の「アンルート 二子玉川」(東京都世田谷区)を2015年4月にオープンし、新たなお客様層の獲得を目指しています。

スモール ビジネス ユニット：「アナザーエディション」「ジュエルチェンジズ」「オデットエオディール」「ボワゾンショコラ」「ドゥロワー」「アストラット」「アンルート」「ジエアポートストア ユナイテッドアローズ」「ザステーションストア ユナイテッドアローズ」「ザハイウェイストア ユナイテッドアローズ」「アーキベラゴ ユナイテッドアローズ」

## 連結子会社の概況

### 株式会社フィーゴ

(株)フィーゴは、価格改定や消費増税の影響が見られたものの、百貨店内の直営店を中心に堅調に推移し、増収となりました。イタリア製のバッグ・革小物のブランド「フェリージ」では、バッグやポーチ、ペンケースなどをそろえた迷彩プリントのコレクションが好評いただいています。



フェリージ  
2015年春夏  
シーズンビジュアルより引用

### 株式会社コーエン

カジュアルウェアを展開する「コーエン」は、店長教育の強化や短時間勤務制度などの人事制度の拡充により、店舗運営力が向上しました。その結果、定価販売比率や買い上げ率が高まり、増収となりました。2014年8月に導入したコーエンカードも会員獲得を進め、顧客作りにつなげています。

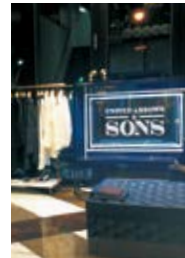


コーエン 岡山店

(株)コーエンは1月期決算のため、通期の連結対象期間は、2014年2月～2015年1月となります。

### 台湾聯合艾諾股份有限公司 (UNITED ARROWS TAIWAN LTD.)

「ユナイテッドアローズ 台北店」は、原宿本店 メンズ館のコンセプトストア「ユナイテッドアローズ&サンズ」のコーナー展開を開始しました。アートやカルチャーを感じる最先端のブランド ラインアップをSNSで積極的に発信し、ファッション感度の高いお客様を獲得しています。



ユナイテッドアローズ 台北店

台湾聯合艾諾股份有限公司は1月期決算のため、通期の連結対象期間は、2014年2月～2015年1月となります。



## 2014年秋冬ヒットアイテムのご紹介

### 「ドゥロワー」のメルトンダッフルコート

上質で洗練された逸品を大人の女性に提案する「ドゥロワー」が丹精込めて製作したダッフルコート。冬季の需要に先駆けて2014年7月に販売を開始し、約1カ月で完売しました。再入荷をご希望のお客様も多く、追加生産を即時に決定。10月に販売した追加生産分も即完売するほどの人気商品となりました。

お客様に長くご愛用いただける「ドゥロワー」の定番品を作りたい。その思いから素材・仕様・シルエット・着心地など全てにおいて高い完成度を追求しました。以前展開していたロングからミディアム丈へ変更し、トラッドアイテムのダッフルコートに程良い時代性を取り入れています。採用したメルトン生地は、高品質で美しいシルエットを形成しやすいものを厳選。糸の段階から染色する「先染め」生地を使用することで表面の綾目に立体感を出しつつ、深みのある色としなやかで上品な風合いを表現しています。縫製職人の手作業によるまつり縫いで裏面の縁を仕上げ、表面に縫い目を出すことなく、エレガントなシルエットに仕立てました。また、裏地を付けないことで軽い着心地を実現しつつ、布端がほつれないようテープで包む「パイピング仕立て」で裏面も綺麗に見せています。

細部にわたってこだわりを追求し、「ドゥロワー」ならではの上品さを表現したダッフルコートは、ブランドを代表する良質なアウターとして多くのお客様のご支持を集め、ブランド価値向上に寄与しました。



この商品の販売は既に終了しています。108,000円(税込)

## CSR情報

「ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング」が「1%フォー・ザ・プラネット」に賛同し「GLR Standard」の売上の1%を寄付

「ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング (GLR)」は、米国の非営利団体「1%フォー・ザ・プラネット」に賛同し、オリジナルレーベル「GLR Standard」の売上の1%を環境保全団体の「一般社団法人モア・トゥリーズ」「NPO法人 森は海の恋人」へ寄付します。

GLRは、「22世紀の子供たちに、よりよい地球環境を残し心地よい毎日を過ごしてもらう」を社会貢献活動ミッションに掲げています。このミッションのもと、お客様と共に社会貢献活動を継続していきます。

### 「GLR Standard」

GLRが2014年春夏よりスタートしたオリジナルレーベル。「標準」とは何かを問い続けるファイン・ベーシック製品とワードローブに必要な不可欠なものを、スタンダードと定義しています。シンプルなデザインで本質的な価値のある商品を、メンズ、ウイメンズ、キッズで展開しています。

### 「1%フォー・ザ・プラネット」

パタゴニア社の創設者イヴォン・シュイナード氏とブルー・リボン・フライズ社のオーナーであるクレイグ・マッシュューズ氏が2002年に立ち上げた米国の非営利団体。地球環境保全のため、売上の1%の寄付を誓約した企業のネットワークを構築し、加盟企業の寄付活動を支援、促進することが目的です。現在、世界48カ国から1,200社を超える企業が加盟し、これまでに3,300以上の非営利団体へ合計1億ドル以上が寄付されています。

「ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング」全店舗、「UA オンラインストア」でお買い求めいただけます。掲載商品は、在庫がなくなり次第販売終了となります。売り切れの際はご容赦くださいますようお願い申し上げます。  
store.united-arrows.co.jp

### GLR Standard

FINE BASICS



「リー ウェスターナー ジャケット」  
16,200円(税込)



「ボーダー カットソー」  
8,532円(税込)



「プルオーバー」  
10,692円(税込)

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表 (要約)

単位：百万円	2014年3月期 (2014年3月31日現在)	2015年3月期 (2015年3月31日現在)	前期末比 (%)
<b>資産の部</b>			
流動資産	38,791	41,438	106.8
(うち、たな卸資産)	20,372	23,474	115.2
固定資産	20,504	20,582	100.4
有形固定資産	9,394	9,057	96.4
無形固定資産	1,746	1,685	96.5
投資その他の資産	9,363	9,839	105.1
資産合計	59,296	62,020	104.6
<b>負債の部</b>			
流動負債	25,120	24,101	95.9
固定負債	2,642	6,731	254.7
負債合計	27,763	30,833	111.1
<b>純資産の部</b>			
資本金	3,030	3,030	100.0
資本剰余金	4,095	4,095	100.0
利益剰余金	30,517	34,716	113.8
自己株式	△6,119	△10,734	175.4
株主資本合計	31,523	31,107	98.7
その他の包括利益 累計額合計	9	79	860.2
純資産合計	31,532	31,186	98.9
負債・純資産合計	59,296	62,020	104.6

#### たな卸資産の増加率は売上高の伸長率を上回って着地

たな卸資産は前期末比115.2%となりました。売上高の伸び(前期比102.0%)に対する大幅な増加の要因は、円安に伴う商品調達価格の上昇や消費税前の駆け込み需要を見込んだ商品調達額の増加のほか、2014年春夏のセールの不調などによるものです。在庫増加を経営課題\*と捉え、早期に在庫の適性化を図ることで、在庫回転を改善していきます。

\* 詳細は、3ページの「社長メッセージ」をご参照ください。

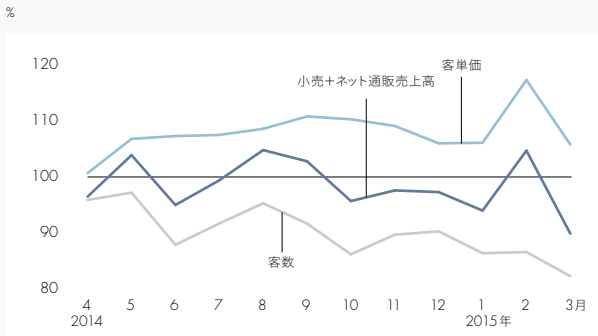
#### 長短借入金残高は前期末比206.6%の10,500百万円

流動負債は、前期末比95.9%の24,101百万円となりました。これは主に、短期借入金が100百万円、1年内返済予定の長期借入金が1,322百万円増加したものの、未払法人税等が2,157百万円、賞与引当金が422百万円、役員退職慰労引当金が309百万円それぞれ減少したためです。固定負債は、同254.7%の6,731百万円となりました。これは主に、自己株式取得等のため長期借入金が3,996百万円増加したことによるものです。なお、長短借入金残高は、同206.6%の10,500百万円となりました。

#### 安定配当を優先し、年間配当金は期初計画通り78円

純資産は、前期末比98.9%の31,186百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4,198百万円増加した一方、自己株式が4,614百万円増加したためです。なお、1株当たり配当金は利益配分方針に掲げている安定配当を優先して期初計画を据え置き、期末配当金は1株当たり58円、年間配当金は78円となりました。

#### 2015年3月期 既存店売上高・客数・客単価の推移



#### (株) ユナイテッドアローズの既存店売上高の動向

2015年3月期は、客単価の高いウロムハーツ事業が好調に推移したことや、全社的に仕入品の売上高が増加したことに加えて、価格政策として実施した商品の値上げなどにより、客単価が前期比107.3%\*となりました。円安を背景に2013年秋冬から実施していた商品の値上げについて2014年秋冬に対象商品を拡大したところ、一部の商品で価格と価値のバランスが崩れ、結果、客数は同90.0%\*、小売既存店売上高は同96.6%となりました。一方、ネット通販では、スニーカーをはじめとする話題性商品の先行予約会を増やしたことや、セール対象商品の集約などが奏功し、ネット通販既存店売上高は同106.6%と好調に推移しました。以上の結果、小売+ネット通販既存店売上高前期比は97.7%となりました。

\* 客単価・客数は小売既存店ベースで算出しています。

## 連結損益計算書(要約)

創業以来26期連続増収も、売上総利益額は前期比99.3%  
売上高は、グループ全社の増収により前期比102.0%の131,029  
百万円となりました。円安による原価率の上昇や仕入品の売上  
構成拡大に加えて、在庫消化優先のために値引き販売が増加し  
たことなどにより、売上総利益率は同1.4ポイント減の51.9%、売  
上総利益額は同99.3%の68,046百万円となりました。

## 販管費率は前期比0.6ポイント増加

宣伝販促費などを計画より抑制するも、グループ各社の新規出  
店等による人件費や、在庫の増加に伴う物流関連コストなどの  
増加により、販売費及び一般管理費は前期比103.4%の56,695  
百万円となりました。(株) ユナイテッドアローズの小売+ネット通  
販既存店売上高が前期比で減収となったことに伴い、人件費や  
賃借料の構成比が相対的に高まったことなどから、販管費率は  
同0.6ポイント増の43.3%となりました。

## 前期比で減益、修正計画比では上回り着地

上記の結果、営業利益は前期比83.2%、経常利益は同84.0%と  
なりました。減損損失931百万円の計上などにより、当期純利益  
は同79.9%の6,332百万円となりました。2015年2月に発表した  
修正計画比では、各利益が上回って着地しました。

単位：百万円	2014年3月期 (2013年4月1日— 2014年3月31日)	2015年3月期 (2014年4月1日— 2015年3月31日)	前期比 (%)
売上高	128,489	131,029	102.0
売上原価	59,997	62,982	105.0
売上総利益	68,492	68,046	99.3
販売費及び一般管理費	54,842	56,695	103.4
営業利益	13,649	11,351	83.2
営業外収益	246	326	132.3
営業外費用	157	135	85.9
経常利益	13,739	11,542	84.0
特別利益	40	19	47.2
特別損失	505	1,066	211.0
税金等調整前当期純利益	13,274	10,495	79.1
法人税、住民税及び事業税	5,491	3,756	68.4
法人税等調整額	△137	406	—
当期純利益	7,920	6,332	79.9

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、税金等調整前当期純利益  
10,495百万円、減価償却費1,801百万円、その他の流動負債の増加  
額668百万円などの収入があった一方、たな卸資産の増加額3,102  
百万円、法人税等の支払額5,871百万円などの支出があったことで、  
4,730百万円のキャッシュ・インとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、新規出店や改装等に伴う  
有形固定資産の取得2,299百万円、差入保証金の差入による支出  
549百万円、長期前払費用の取得による支出327百万円などがあった  
ことで、3,249百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、短期借入金の純増加額  
100百万円、長期借入金の借入れによる収入6,000百万円があった  
一方、自己株式の取得による支出4,614百万円、配当金の支払額  
2,132百万円などがあったことで、1,328百万円のキャッシュ・アウト  
となりました。

単位：百万円	2014年3月期 (2013年4月1日— 2014年3月31日)	2015年3月期 (2014年4月1日— 2015年3月31日)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー (小計)	11,398	10,939	△459
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,828	4,730	△2,098
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,072	△3,249	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,472	△1,328	3,143
現金及び現金同等物の期末残高	5,429	5,585	155

キャッシュ・フローの状況  
百万円

キャッシュ・イン	前期末残高	+5,429	営業活動	+4,730
	投資活動	△3,249	財務活動	△1,328
キャッシュ・アウト	期末残高	+5,585		
		0		11,000

## 株主様アンケート結果のご報告

東矢通信第30巻（2014年12月発行）において、株主様アンケートを実施しました。多くの貴重なご回答をいただき、誠にありがとうございました。アンケート結果について、ご報告申し上げます。

### アンケート結果の総括

当社の株主様の特徴として、お客様層でもある30～40代の方や、「店舗や商品のファンだから」「株主優待制度に魅力を感じて」という理由で当社株式を保有される方が多いことが挙げられます。

また、収益性の向上など業績面の安定・成長のみならずブランド価値の維持向上を望まれる声や、商品・店舗・サービスの拡充、株主優待制度へのご要望など、貴重なご意見を多数いただきました。ご意見、ご要望を経営・事業部門と共有し、今後の経営や営業活動に生かしていきます。

### IR担当者より

IR情報を直接お伝えできない方々へ向けて、IRサイトを充実させています

当社は、決算発表や月次売上概況の発表時にアナリスト・機関投資家から多くのお問い合わせをいただいています。一方、個人投資家・株主の皆様や直接お問い合わせをいただかない機関投資家に対して、お伝えできる情報量の格差を課題として捉えています。当社の全てのステークホルダーに平等に情報を提供するため、近年、IRサイトのコンテンツを拡充しています。ここで、取り組みの一部をご紹介します。

#### 決算説明会

決算発表の直後に、シナリオ付きの決算説明会資料をIRサイトに掲載しています。決算説明会の翌営業日には、説明会の動画や、アナリスト・機関投資家・マスコミ各社から寄せられたご質問を取りまとめた質疑応答集も掲載しています。

IRライブラリー [united-arrows.co.jp/ir/lib](http://united-arrows.co.jp/ir/lib)

#### 月次売上概況

当社は、毎月第2営業日\*に月次売上概況（速報）を発表しています。月次売上概況資料では、全社の売上高のみならず、事業別の状況も開示しているほか、ヒット商品の写真を掲載し理解促進につなげています。発表後数日以内には、質疑応答集を掲載しています。

\*土日・祝日を除きます。

月次売上概況 [united-arrows.co.jp/ir/monthly](http://united-arrows.co.jp/ir/monthly)

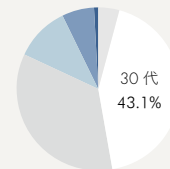
今後も株主の皆様のご意見を大切にしながら、IR活動を継続的に進化させていきます。

東矢通信に関するご意見・ご感想、財務・株式情報に関する各種お問い合わせなど、お気軽にお寄せください。

[united-arrows.co.jp/ir/contact](http://united-arrows.co.jp/ir/contact)

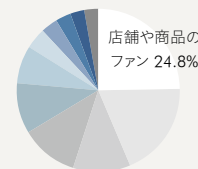
### 年齢

年齢	%
20代以下	4.3
30代	43.1
40代	34.8
50代	10.7
60代	6.3
70代以上	0.8



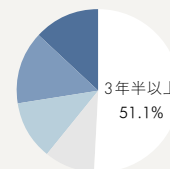
### ご購入された理由

理由	%
店舗や商品のファン	24.8
株主優待制度	18.9
企業イメージが良い	11.5
事業内容	11.4
成長性	9.9
配当	7.5
株価、チャートの動き	4.2
経営理念に共感	3.3
経営方針・戦略	3.0
収益性、財務体質	2.8
その他	2.7



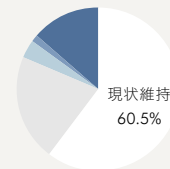
### ご保有年数

保有年数	%
3年半以上	51.1
3年半以内	9.9
2年半以内	11.7
1年半以内	14.3
半年以内	13.0



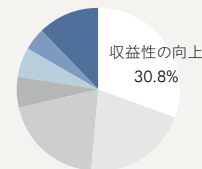
### 今後の投資方針

投資方針	%
現状維持	60.5
買い増し	20.9
一部売却	3.6
全て売却	1.6
未定	13.4



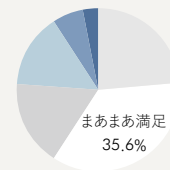
### 経営方針について望むこと

望むこと	%
収益性の向上	30.8
業績の拡大	20.8
店舗、商品、サービスの拡充	20.0
既存事業による成長拡大	6.0
海外進出による成長拡大	6.0
新チャネルへの展開	4.4
その他	12.0



### 株主優待制度についてのご感想

感想	%
満足	23.7
まあまあ満足	35.6
普通	17.0
やや不満	14.6
不満	6.3
わからない	2.8



## 株式データ 2015年3月31日現在

株主数	13,318名
発行可能株式の総数	190,800,000株
発行済株式の総数*	37,800,000株

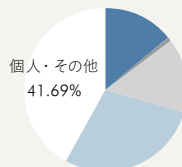
\*発行済株式の総数のうち、全体の19.08%に当たる7,215,124株を自己株式として保有しています。

### 大株主

株主名	持株数 (株)	所有株式数の 割合 (%)
重松 理	2,698,400	7.13
株式会社エー・ディー・エス	2,000,000	5.29
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT 常任代理人 香港上海銀行 東京支店	1,542,600	4.08
株式会社麟蔵	1,148,400	3.03
栗野 宏文	1,133,000	2.99
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225 常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済営業部	770,855	2.03
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT - TREATY RATE 常任代理人 シティバンク銀行株式会社	750,000	1.98
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS 常任代理人 香港上海銀行東京支店	747,900	1.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	732,100	1.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	628,100	1.66

#### 所有者別分布状況(株式数)

	%
金融機関	14.05
金融商品取引業者	0.82
その他の法人	14.83
外国法人等	28.61
個人・その他	41.69



#### 所有者別分布状況(株主数)

	%
金融機関	0.28
金融商品取引業者	0.23
その他の法人	0.67
外国法人等	1.56
個人・その他	97.26



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 <u>電話 0120-232-711 (通話料無料)</u>
公告方法	電子公告 やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
単元株式数	100株

### 株式事務のお手続きに関するご案内

株式事務のお手続き(住所、氏名等の変更、単元未満株式の買取請求)については、株主様が口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。未払い配当金の受取りのお手続き、株主優待券や配当金計算書の各種株式事務書類の発送状況等に関するお問い合わせは、三菱UFJ信託銀行本支店にて承ります。

### 将来予測に関する記述についての注意事項

当報告書の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。

従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い申し上げます。

実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどにかかわるさまざまな要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

IR情報に関するお問い合わせ先  
株式会社ユナイテッドアローズ IR室  
電話 03-5785-6637

## 会社情報

### 会社概要 2015年3月31日現在

商号	株式会社ユニテッドアローズ UNITED ARROWS LTD.
本社所在地	東京都渋谷区神宮前二丁目31番12号
設立	1989年10月2日
資本金	30億30百万円
従業員数	3,521名
事業内容	紳士服・婦人服および雑貨等の企画・販売
主要取引銀行	1. 三菱東京UFJ銀行 2. 三井住友銀行 3. みずほ銀行

### 取締役・監査役 2015年6月23日現在

代表取締役 社長執行役員	竹田 光広
取締役 専務執行役員	藤澤 光徳
取締役 専務執行役員	小泉 正己
取締役 常務執行役員	東 浩之
取締役(社外)	石綿 学
取締役(社外)	西川 英彦
常勤監査役(社外)	酒井 由香里
監査役(社外)	山川 善之
監査役(社外)	橋岡 宏成

### 連結子会社

株式会社フィーゴ  
株式会社コーエン  
台湾聯合艾諾股份有限公司

## お知らせ

### 「なでしこ銘柄」に選定

当社は、女性活躍推進に優れた企業として平成26年度「なでしこ銘柄」に選定されました。

「なでしこ銘柄」とは、経済産業省が東京証券取引所と共同で、年1回、東証一部上場企業の中から業種ごとに、女性人材を積極的に活用して企業を選定し紹介する取り組みです。選定企業を魅力ある銘柄として中長期での企業価値向上を重視する投資家へ紹介することで、投資を促進するとともに、各企業の女性活躍推進への取り組みを加速化させることが目的です。当社の選定にあたっては、理念体系の「社会との約束」で掲げている「従業員価値の創造」に向けた行動指針において、多様な価値観の尊重といきいきと働ける職場作りの推進をうたっていることや、女性管理職（店長以上、部下を持つ職務以上の者）の比率が36.6%\*と高いこと、監査役・執行役員といったより高位の役職にも女性が就任していることなどが評価のポイントになりました。

\*2014年3月末現在

「なでしこ銘柄」の概要・選定方法や選定企業について

[www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/nadeshiko.html](http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/nadeshiko.html)

CSRサイト「従業員価値の創造」

[www.united-arrows.co.jp/csr/about/value\\_02.html](http://www.united-arrows.co.jp/csr/about/value_02.html)



### 「IR優良企業大賞」を受賞

当社は、2014年度「IR優良企業大賞」（一般社団法人 日本IR協議会主催）を受賞しました。

「IR優良企業賞」とは、IRの趣旨を深く理解し、積極的に取り組み、市場関係者の高い支持を得るなど優れた成果を上げた企業を表彰することを目的とした賞です。今回は、応募した261社の中から、大賞2社、優良企業賞5社、特別賞5社、奨励賞2社が選ばれました。当社が受賞した大賞は、優良企業賞を過去2回受賞し、3回目も受賞に値する評価を受けた企業に贈られるものです。なお、当社は2002年に奨励賞、2003年・2005年に優良企業賞、2013年に特別賞を受賞しています。当社は、改善を重ねながら高水準のIR活動を継続して実施していることや、情報開示の質・量ともに優れていること、投資家との対話を積極的に経営に生かそうという経営トップの姿勢などが評価され、受賞に至りました。今回の受賞を励みに、IR活動のさらなる充実を目指します。



#### 「IR 優良企業賞」の受賞企業（敬称略）

大賞	当社、アサヒグループホールディングス
優良企業賞	味の素、セブン&アイ・ホールディングス、東京海上ホールディングス、三井化学、三菱重工業
特別賞	塩野義製薬、セイコーエプソン、日本電信電話、日本ハム、三井物産
奨励賞	デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム、福岡リアルティ

日本IR協議会「IR優良企業賞」概要

[www.jira.or.jp/activity/bluechip.html](http://www.jira.or.jp/activity/bluechip.html)

